

○人材育成のあり方

⑨若者や女性の参画を通じた人材育成

自治基本条例

○目指す姿 <みんなで参画、協働できている状態>

- 地域内の様々なグループが繋がっている状態
- 若者や女性が各年代を通じて、顔を合わせる機会が多く、多くの意見で議論される状態
- 一人一人が主役となって、若者も女性も含め、誰もが参画・参加でき、活発な活動が展開されている状態

- 第4条 (自治の基本原則)
- 第6条 (市民の責務)
- 第11条 (住民自治の原則)
- 第14条 (住民自治組織)
- 第15条 (参加、参画の権利)

【対策】(提案)

- ・グループ支援から自治協議会との繋がりをつくる。
- ・やりたい人がしたいことをできる仕組みをつくる。
- ・若者、女性に特化した助成や事業展開を行う。
- ・会議の時間帯の工夫や役割分担など女性が参画しやすい環境を整える。
- ・女性では行い難いことを男性がサポートする体制を整える。
- ・動いている方、動きたいという方を含めた情報交換の場を上手く取り入れる。
- ・フェイスブックなどを活用し、一方通行の情報提供でなく、双方向の情報交換をする。
- ・楽しいことをきっかけに人材を増やす。

○課題

- ・若者や女性とコミュニケーションを図る仕組みがない。
- ・女性が組織に参画する仕組みが少ないため、参画しにくい。
- ・男性の役割、女性の役割という固定的な考えが残っている。
- ・個人の参画の場が十分でなく、女性や若者の参画がしにくい。

○現状

- ・若者、女性の参画が少ない。
- ・退職世代が中心。
- ・既存グループとの連携が少ない。
- ・家事等が忙しく、家族の協力体制がないと役員を受けられない。
- ・既存の事業が先行している。
- ・やりたいことができない。
- ・参画する仕組み、きっかけがない。
- ・人材はあるが、接点がないため存在がわからない。

○現状のまま対策をしない場合

- ・参画する人がもっと少なくなる。
- ・グループ活動が衰退して行く。
- ・後継者がいなくなる。
- ・役員等が男性ばかりで、新たな活動がなくなる。
- ・若者や女性など人材が地域から離れていく。
- ・人のつながりが希薄になる。
- ・地域の運営、維持ができなくなる。
- ・地域組織から離れる人が増加する。

【好事例(丹波市内)】

- ・地域内の若手グループに対して、新しい取り組みを期待して補助を積極的にしている。
- ・子育て支援事業の展開を模索しているときに、やりたいと手を挙げてくれた人があり、その人を中心に事業展開を行っている。
- ・自治会の役員選出において、女性が入るようにしている。
- ・新しい活動は応援しやってみようという雰囲気があり、地域の課題解決に対して事業を進めるグループが立ち上がり、支援をしている。